

医療行動科学 4

2 年次 後学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
学習の目標 (GIO)	医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあらわれ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。
授業担当者	伊藤孝訓（歯科総合診療学）、多田充裕（歯科総合診療学）、青木伸一郎（歯科総合診療学）、大沢聖子（歯科総合診療学）、佐治量哉（玉川大学脳科学研究所）、蝦名直美（日本大学文学部人文科学研究所）
教科書	プリントを配布する。
参考図書	グラフィック認知心理学：森 敏昭、井上 毅、松井孝雄（サイエンス社） グラフィック社会心理学（第2版）：池上知子、遠藤由美（サイエンス社） その他、随時紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験（60%）、制作物・体験学習レポート（30%）、受講態度（10%）をもって総合評価（最終評価）する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	よりよい患者-医療者関係を構築するには、医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となる学問に心理学があります。少し深く基本から考えてみましょう。専門家をお呼びしますの積極的に学んで下さい。 E-mail(mas-shindan@ml.nihon-u.ac.jp)による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月30日(月) 10:40～12:10	ガイダンス	【準備学習項目】 1. いわゆる心理について概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 「医療心理学」について説明できる。 2. 人の行動と心理について説明できる。 3. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。 < A-3 / 必-2-A-e, 必-2-B-d >	伊藤孝訓
10月7日(月) 10:40～12:10	認知心理	【準備学習項目】 1. 認知の意味を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 知覚、認知について説明できる。 2. 思考、判断について説明できる。 < A-3 / 必-17-B, 必-2-A-e, 必-2-B-d >	蝦名 直美
10月21日(月) 10:40～12:10	学習・認知心理	【準備学習項目】 1. いわゆる学習の意味を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 記憶について説明できる。 2. 学習の動機付けについて概説できる。 3. 学習、行動変容について説明できる。 < A-3 / 必-2-A-d, 必-8-A-c, 必-17-B >	蝦名 直美
10月28日(月) 10:40～12:10	社会心理	【準備学習項目】 1. 日本人観について概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 感情、情動について説明できる。 2. 欲求、動機付けについて説明できる < A-3 / 必-2-A-e, 必-17-B, 必-8-A-c, 必-8-B-f >	蝦名 直美

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月11日(月) 10:40～12:10	脳科学	【準備学習項目】 1. 脳の構造と機能を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 神経系の発生、分類と構造、働きについて説明できる。 2. 脳科学の研究法(非侵襲脳機能計測法)について説明できる。 < D-2-3)-(5)/ 総-()-1-2 >	佐治 量哉
11月18日(月) 10:40～12:10	平常試験1		伊藤孝訓 青木伸一郎
11月25日(月) 10:40～12:10	脳科学	【準備学習項目】 1. 感情と情動について概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 情動に関わる脳機能について概説できる。 2. 感情に関わる脳機能について概説できる。 3. 理性に関わる脳機能について概説できる。 < D-2-3)-(5)/ 総-()-1-2 >	佐治 量哉
12月2日(月) 10:40～12:10	発達脳科学	【準備学習項目】 1. 心身の発達と病気について概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 脳機能の障害と心の病について概説できる。 2. 脳と心の発達について概説できる。 < D-2-3)-(5)/ 総-()-1-2 >	佐治 量哉
12月9日(月) 10:40～12:10	パーソナリティ	【準備学習項目】 1. 性格と気質について概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。 < A-3, B-2-1)/ 必-2-A-e, 必-2-B-d >	大沢聖子 伊藤孝訓
12月16日(月) 10:40～12:10	ストレスと健康	【準備学習項目】 1. ストレスと心の関係を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 全人的医療モデルと患者の理解について説明できる。 2. ストレスが招く心の病について説明できる。 3. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。 < F-4-5)- , A-5-3)- / 必-2-A-e, 必-2-B-d, 総-7 >	多田充裕
12月21日(土) 10:40～12:10	心理検査	【準備学習項目】 1. 心理検査の特徴を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. ストレスについて説明できる。 2. YG心理検査、自己分析の演習ができる。 < A-3,A-5-3)- ,F-4-5)- / 総- -5-C >	青木伸一郎
1月20日(月) 10:40～12:10	判断とエラー	【準備学習項目】 1. 人の行為にはエラーがつきものということを概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 注意について概説できる。 2. 直観的思考について説明できる。 3. 医学における診断について説明できる。 < A-5 / 必-4-B,C,D >	伊藤孝訓
1月27日(月) 10:40～12:10	ケアと心理	【準備学習項目】 1. ライフサイクルによる心理傾向を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。 < C-2-2)- ~ / 必-2-A-e, 総- -6-A >	蝦名 直美

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月29日(水) 10:40 ~ 12:10	対人行動	【準備学習項目】 1. 行動を操作する心の働きの存在を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 対人行動について説明できる。 2. メタ認知について説明できる。 3. コミュニケーションに関わる心理を説明できる。 4. 言語とコミュニケーションについて説明できる。 < A-3, B-2/ 必-2-B >	伊藤孝訓
2月3日(月) 10:40 ~ 12:10	会話行動を分析する	【準備学習項目】 1. 人の行動と心理を概説できる。 【講義】 102 教室 【学習内容】 1. 医療における特異的な人間関係について説明できる。 2. 言語とメタメッセージについて説明できる。 3. 非言語コミュニケーションと心理について説明できる。 < A-3, B-2/ 必-8-B >	青木伸一郎
2月10日(月) 10:40 ~ 12:10	平常試験2		伊藤孝訓 青木伸一郎